



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ケイファーマ 上場取引所 東
 コード番号 4896 URL <https://www.kpharma.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福島 弘明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 松本 真佐人 (TEL) 03-6629-3380
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|----------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 1,000 | — | 515 | — | 508 | — | 398 | — |
| 2022年12月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期第3四半期 | 40.31 | — |
| 2022年12月期第3四半期 | — | — |

(注) 1. 当社は、2022年12月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2022年12月期第3四半期の金額及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

3. 2023年8月6日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。当四半期累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年12月期第3四半期 | 1,981 | 1,734 | 87.5 |
| 2022年12月期 | 1,374 | 1,336 | 97.2 |

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,734百万円 2022年12月期 1,336百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2023年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,000 | — | 302 | — | 266 | — | 180 | — | 17.69 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 2023年12月期3Q | 9,879,000株 | 2022年12月期 | 5,000,000株 |
| 2023年12月期3Q | －株 | 2022年12月期 | －株 |
| 2023年12月期3Q | 9,879,000株 | 2022年12月期3Q | －株 |

- (注) 1. 当社は2023年8月6日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 当社は2022年12月期第3四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (収益認識関係) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| 3. その他 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による社会経済活動の制約が大幅に緩和され、正常化が進んだ一方、長期化しているロシアのウクライナ侵攻の影響や欧米ならびに中国の景気後退懸念、中東あるいは東アジアの地政学的リスク等からわが国経済を下振れさせるリスクが多数存在しており、先行きについては極めて不透明な状況が続いております。

iPS細胞を活用した創薬事業では6つの開発パイプラインの研究を行っており、その内のALS(※1)に関する開発パイプラインにおいて2023年3月1日にアルフレッサファーマ株式会社との間で、「ロピニロール塩酸塩を活用したALS治療薬の開発権・製造販売権許諾契約(以下「開発権・製造販売権許諾契約」という。)」を締結しており、一刻も早く患者様に治療薬を届けるために、アルフレッサファーマ株式会社と共に検証的治験(第Ⅲ相試験)に向けて準備を進めてまいります。

なお、ロピニロール塩酸塩がALSの病態に有効であることをiPS細胞を用いる方法により見出しておりますが、これはiPS細胞創薬によって、既存薬以上の臨床的疾患進行抑制効果をもたらさうる薬剤の同定に世界で初めて成功した事例であり、iPS細胞等幹細胞を用いた研究に関する著名な国際科学雑誌である「Cell Stem Cell 誌(Cell Press)」に、2023年6月2日(日本時間)に掲載されております。

また、慶應義塾大学との共同研究において、ロピニロール塩酸塩が新規メカニズムに基づいてALS治療効果を示す新規薬剤であることを明確にする取組みを行っております。

ALS以外の5つの開発パイプラインについても患者様由来のiPS細胞を活用した研究を行っており、治療薬の開発を鋭意進めております。

iPS細胞を活用した再生医療事業では5つの開発パイプラインの研究を行っておりますが、その内の亜急性期脊髄損傷のパイプラインでは、2023年2月に慶應義塾大学信濃町キャンパス内総合医科学研究棟に「ケイファーマ・慶應 脊髄再生ラボ」を開室しており、引き続き慶應義塾大学と一体となって準備を進めてまいります。

このような状況の中、当第3四半期累計期間におきましては、開発権・製造販売許諾契約を締結したことに伴い、契約一時金及びマイルストーン収入を獲得したことにより、売上高1,000,000千円、売上総利益910,000千円を計上したものの、研究開発費を174,575千円を計上したこと等により、営業利益は515,836千円、経常利益は508,569千円、四半期純利益は398,213千円となりました。

なお、当社は医薬品等の研究・開発・製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載は行っておりません。

※1 ALS:筋萎縮性側索硬化症(Amyotrophic Lateral Sclerosis)

日本国内では1974年に特定疾患に認定された指定難病であり、重篤な筋肉の萎縮と筋力低下をきたす神経変性疾患で、運動ニューロン病の一種であり、極めて進行が速く、半数ほどが発症後3年から5年で呼吸筋麻痺により死亡し、治癒のための有効な治療法は現在確立されておられません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,978,024千円となり、前事業年度末と比較して607,096千円増加いたしました。主な要因は、契約一時金及びマイルストーン収入が入金したことに伴い現金及び預金が575,878千円増加、前払費用も33,362千円増加したことによるものであります。

固定資産は3,638千円であり、前事業年度末から増減がありませんでした。

この結果、総資産は、1,981,662千円となり、前事業年度末と比較して607,096千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は216,532千円となり、前事業年度末と比較して182,849千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益計上に伴う未払法人税等が101,979千円増加及び未払消費税等が70,098千円増加したことによるものであります。

固定負債は30,653千円であり、前事業年度末と比較して26,034千円増加いたしました。これは資産除去債務が26,034千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は247,186千円となり、前事業年度末と比較して208,883千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,734,476千円となり、前事業年度末と比較して398,213千円増加いたしました。これは、四半期純利益を398,213千円計上したことにより利益剰余金が398,213千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は87.5%（前事業年度末は97.2%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、2023年10月17日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,336,847 | 1,912,726 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,196 | 9,378 |
| 前払費用 | 22,406 | 55,769 |
| その他 | 1,477 | 150 |
| 流動資産合計 | 1,370,928 | 1,978,024 |
| 固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 保証金 | 3,638 | 3,638 |
| 投資その他の資産合計 | 3,638 | 3,638 |
| 固定資産合計 | 3,638 | 3,638 |
| 資産合計 | 1,374,566 | 1,981,662 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2022年12月31日) | 当第3四半期会計期間 (2023年9月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 10,044 | 6,968 |
| 未払費用 | 21,547 | 33,738 |
| 未払法人税等 | 1,900 | 103,879 |
| 未払消費税等 | - | 70,098 |
| 預り金 | 191 | 1,847 |
| 流動負債合計 | 33,683 | 216,532 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 4,619 | 30,653 |
| 固定負債合計 | 4,619 | 30,653 |
| 負債合計 | 38,302 | 247,186 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 100,000 | 100,000 |
| 資本剰余金 | 2,249,250 | 2,249,250 |
| 利益剰余金 | △1,012,986 | △614,773 |
| 株主資本合計 | 1,336,263 | 1,734,476 |
| 純資産合計 | 1,336,263 | 1,734,476 |
| 負債純資産合計 | 1,374,566 | 1,981,662 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 1,000,000 |
| 売上原価 | 90,000 |
| 売上総利益 | 910,000 |
| 販売費及び一般管理費 | 394,163 |
| 営業利益 | 515,836 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 16 |
| 営業外収益合計 | 16 |
| 営業外費用 | |
| 株式公開費用 | 4,000 |
| 株式交付費 | 3,193 |
| その他 | 90 |
| 営業外費用合計 | 7,283 |
| 経常利益 | 508,569 |
| 特別損失 | |
| 減損損失 | 36,497 |
| 特別損失合計 | 36,497 |
| 税引前四半期純利益 | 472,072 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 73,859 |
| 法人税等合計 | 73,859 |
| 四半期純利益 | 398,213 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

| | 当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|---------|---|
| 税金費用の計算 | 税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 |

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、時価算定会計基準適用指針の適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社は、医薬品等の研究・開発・製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社は医薬品等の研究・開発・製造・販売の単一セグメントであり、主要な財又はサービスの種類別に分解した収益は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) |
|---------------|---|
| 契約一時金 | 500,000 |
| マイルストーン収入 | 500,000 |
| ロイヤリティ収入 | — |
| 顧客との契約から生じる収益 | 1,000,000 |
| その他の収益 | — |
| 外部顧客への売上高 | 1,000,000 |

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、2023年10月17日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2023年9月12日及び2023年9月27日開催の取締役会決議に基づき、下記の通り公募による新株式の発行を実施し、2023年10月16日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は834,160千円、発行済株式総数は11,559,000株となっております。

(1) 募集方法

国内及び欧州、アジアを中心とする海外市場における募集

(2) 募集株式の種類及び数

普通株式 1,680,000株

国内 1,241,100株

海外 438,900株

(3) 発行価格

1株につき 950円

(4) 引受価額

国内：1株につき874円

海外：1株につき874円

(5) 資本組入額

国内：1株につき437円

海外：1株につき437円

(6) 増加する資本金の額

734,160千円

(7) 増加する資本準備金の額

734,160千円

(8) 引受価額の総額

1,468,320千円

(9) 払込期日

2023年10月16日

(10) 資金の使途

①iPS創薬事業、再生医療事業のそれぞれのパイプラインの研究開発資金

②米国への今後設立予定である研究所の関連資金

③運転資金

なお、具体的な充当期間までは、安全性の高い金融商品等で運用する方針であります。

3. その他

該当事項はありません。